

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	03	01	02	0404	高齢者福祉サービス基盤整備事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-5	福祉の充実			
	施策	2	高齢者福祉の充実			
目的	介護サービス施設の待機者解消					
対象	施設整備を実施した法人					
意図	介護施設サービスの充実を図る					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○老人福祉施設建設資金借入償還金補助 老人福祉施設の建設、改築時の借入償還金元利補給補助を実施した。						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		事業協力・協定		
		○補助・助成		委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	補助金交付施設数	施設	計画	16	15	
			実績	16	8	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	介護施設(特養、老健、療養型病床)及びグループホームの入所定員数	人	目標	1,511	1,511	
			実績	1,482	1,511	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		○	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
【H26成果指標の設定根拠】 平成25年度に小規模特別養護老人ホーム及び小規模多機能型居宅介護施設各2施設が完成予定である。 これにより、平成26年度当初に特別養護老人ホームの入所定員は58名増加となり、介護施設及びグループホームの入所定員は1,511名となる。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・入所待機者の解消に資するための施設整備は、保険者である市の計画に基づき行われるものである。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	・新たな施設整備については、長期的な展望に立ち計画的に実施する必要がある。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・借入償還補助については、建設時の契約によるものである。 ・補助金交付事務等であるため、人件費の削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある ○ どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	・第6期介護保険事業計画期間(H27-H29)においても、整備計画に基づき、公募等により事業者を決定し、受益機会をより公平に図っていくものとする。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある ○ 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
債務負担行為であるので契約に基づき事業継続するものである。 第5期介護保険事業計画期間(H24-H26)における施設整備計画は、平成25年度で完了した。		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	03	01	02	0404	高齢者福祉サービス基盤整備事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		310,948	176,147		△ 134,801
財源内訳	国・県	226,001	116,000		△ 110,001
	地方債				
	その他				
	一般財源	84,947	60,147		△ 24,800

事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度繰返	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定	[平成 18 年度 ~ 平成 37 年度]
------	--------------------------------	--	-----------------------

部経営方針における目標

慣れ親しんだ地域で、共に支え合い、安心していきいきと暮らせるまちをつくる

事業開始の背景・経緯

介護保険事業計画に基づく施設整備

事業概要

○老人福祉施設建設資金借入償還金補助
老人福祉施設の建設、改築時の借入償還金元利補給補助を実施した。

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

施設整備については、圏域毎の施設整備状況を勘案して進めていく必要がある。

担当部署 部名 生活福祉 課名 長寿福祉 担当係長 坊澤尚行 内線 514

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

○ 老人福祉施設建設資金借入償還金補助 60,147千円

【内容】老人福祉施設の建設・改築時の借入償還金元利補給

8施設

特別養護老人ホームいしどりや荘 11,524千円

特別養護老人ホーム東和荘 1,073千円

特別養護老人ホーム大谷荘16,978千円

矢沢地域福祉センター 7,901千円

西南地域福祉センター 4,378千円

宮野目地域福祉センター 4,378千円

軽費老人ホームケアハウス花巻 7,029千円

特別養護老人ホームあすかの里 6,886千円

○ 介護サービス施設等整備臨時特例事業費補助 116,000千円(繰越明許費分)

【内容】新設介護サービス施設整備費に係る補助